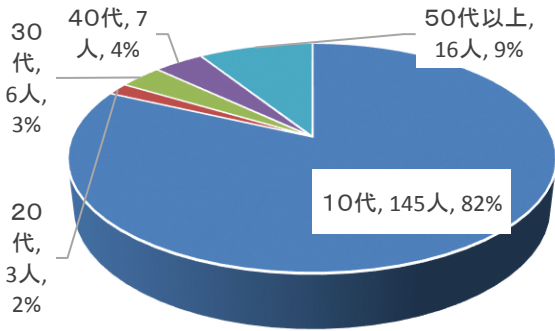
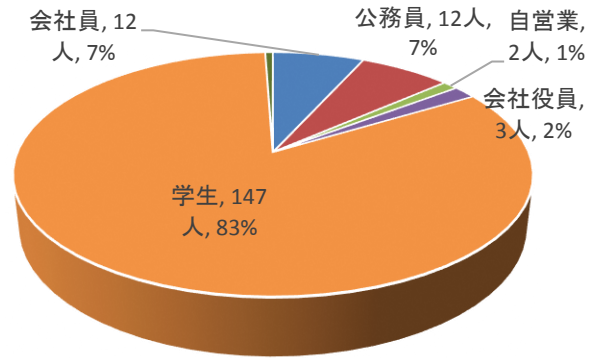


津波防災地域づくり講演会 in ひだかアンケート結果

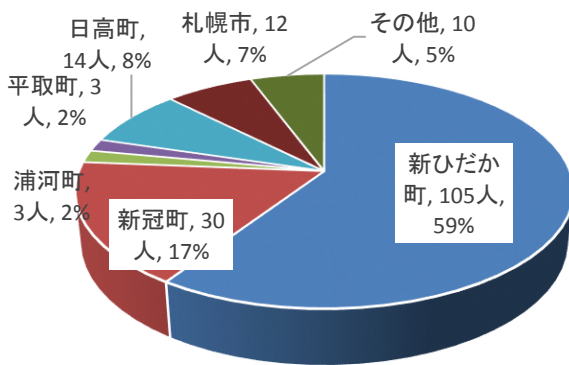
1. 年齢を教えてください



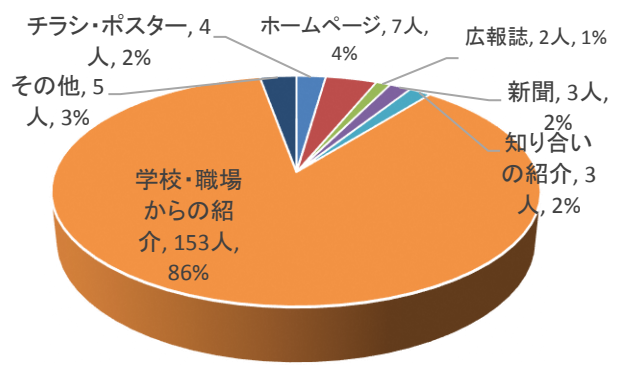
2. ご職業を教えてください



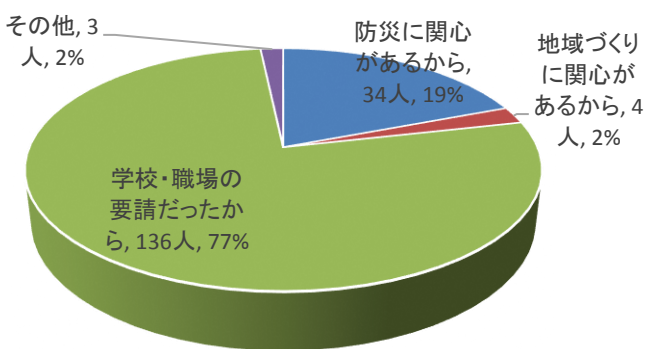
3. お住まいの地域を教えてください



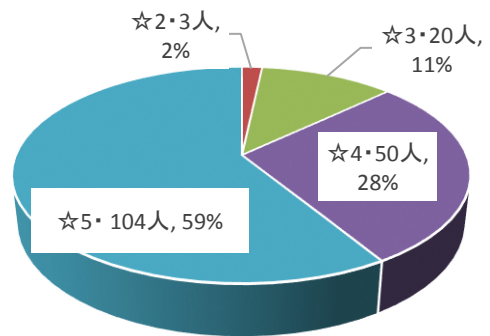
4. この講演会を何で知りましたか



5. 講演会に出席しようと思った理由は何ですか

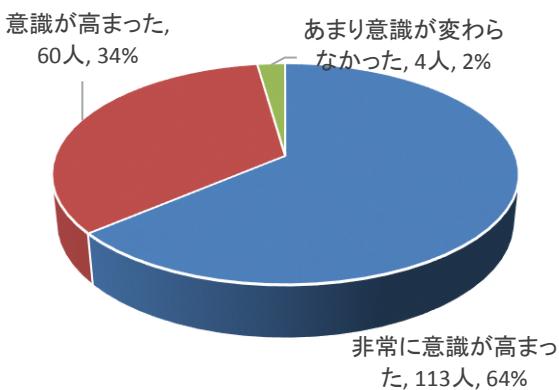


6. 講演会の満足度を教えてください。

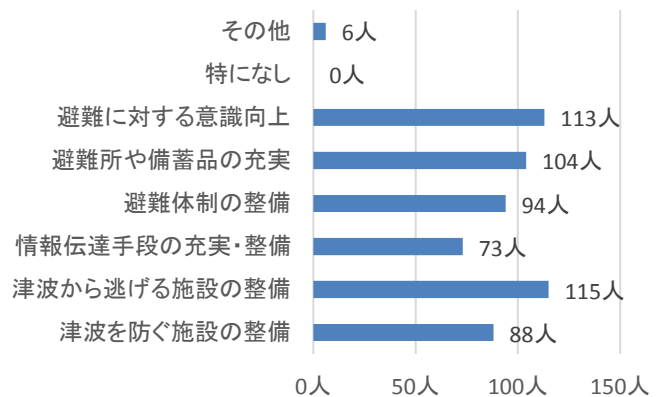


(※星の数が多いほど高評価)

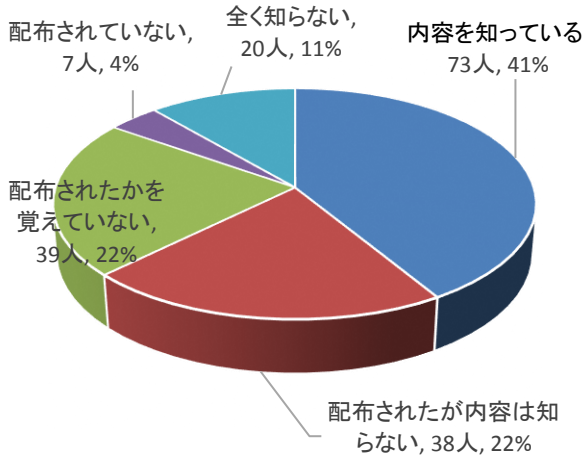
7. 津波に対する避難意識に変化は？



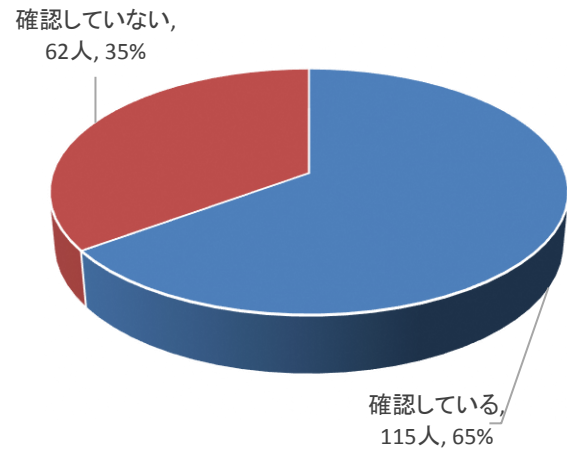
8. 津波に備える上で必要なことは？(複数回答可)



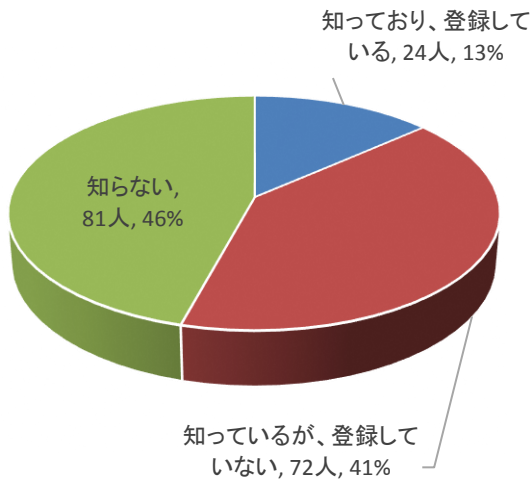
9. ハザードマップ等が配布されていることは？



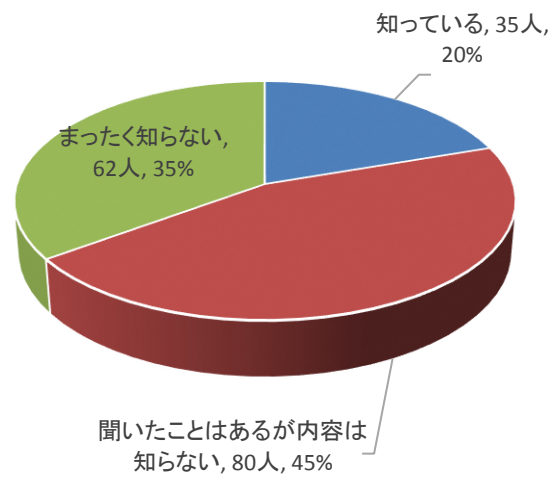
10. 避難経路や場所を家族と共有していますか。



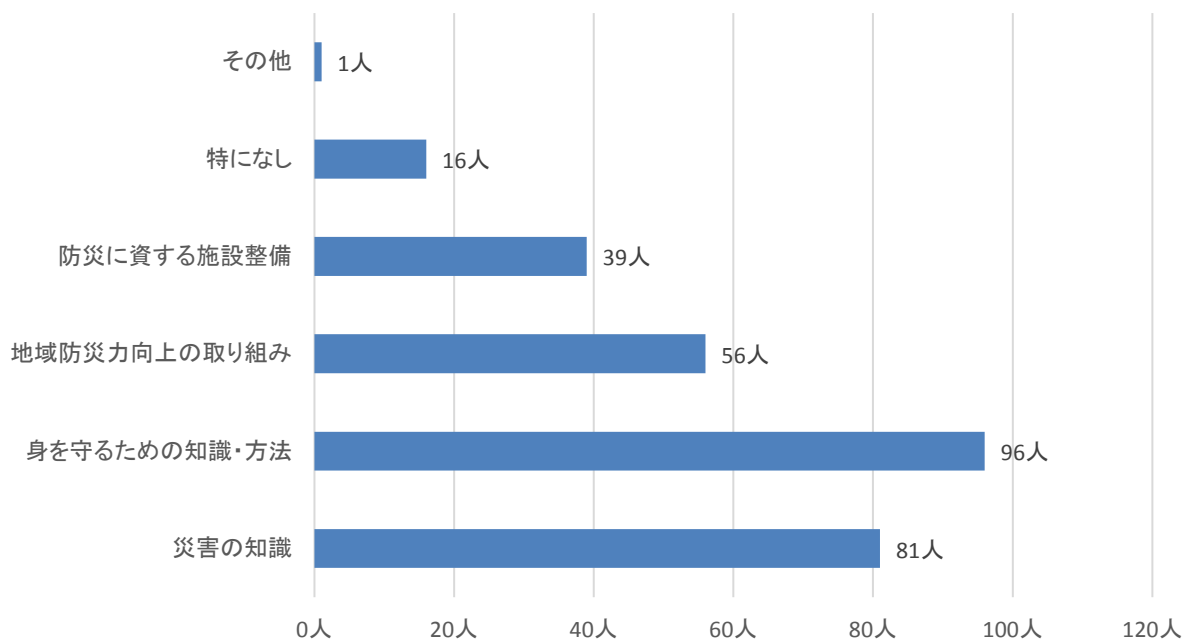
11. 道が配信する「北海道防災情報」について



12. 津波災害警戒区域や、それらの法律について



13. このような講演会などでもっと知りたい、聞いてみたい話がありますか。（複数回答可）



14. 意見、感想

- 津波のことを詳しく細かく話してくれた。なかなか知る機会がなかったのでとても面白く良かったです。
- 知らなかったことを詳しく知ることができました。災害などが起こった時に自分が取らないといけない行動を学ぶことが出来ました。
- 普段から災害への意識はあるけれど、この講演会に参加したことで知れたことがたくさんあり、もっと災害の意識を高めようとする事ができた。
- 私の住んでいる地域の細かいデータを見れたから。いま、怯えてるのは想定に怯えてるだけで、地球のメカニズムは変わってないということを知れた。自分に出来ることをして対策することが大切だと知り、これからやらなきゃいけないことを見つけれられた。
- 防災や地震、津波について参考になることや自分も避難訓練に自主的に参加したいと思えた
- モデルを用いた津波の予想・津波をきっかけに団結できた市町村があるということ・いつか来る津波に対して怯えるだけというのは、できることをして生き残ろうとしていないこれらを聞いてとても心に響いた。
- 地域で団結して、できるだけ多くの方が生き残れるような行動がしたいと思いました。家族との話し合いを改めて行い、避難道具を見直したいと思えるきっかけになりました。
- 地震を筆頭に大きな災害が頻発している現在、「自分の身は自分で守る」のが基本とはいえ限界があるのも事実。そのような中で、町の取り組みや住民たちとの協力体制、個人が普段から意識しておくことなどを再認識でき、非常に勉強になりました。
- その当時の災害状況、避難の活動など知れたし、地域の方と協力している姿は感動しました。
- 言葉で言われるとイメージがつかなくて中々分からないけど、図などでシュミレーションみたいに説明していたので分かりやすかった。
- 今回はとても為になる講演会を開いていただきありがとうございました。避難経路やいつかくる津波に怯えずに、冷静に対応していきたいと思います。
- 今できることを精一杯する、地震に対する恐怖は無くならないので想定を理解してきます。単なるシュミレーションということを忘れず逃げることを諦めません。ためになりました。